



勤行次第  
陀羅尼集  
祝詞集

V3.0

巡禮記勤行次第

|             |    |
|-------------|----|
| 開經偈         | 3  |
| 懺悔文         | 3  |
| 般若心經        | 4  |
| 般若理趣經       | 7  |
| 十三佛真言       | 8  |
| 六觀音真言       | 10 |
| 舍利禮文        | 12 |
| 延命十句觀音經     | 13 |
| 光明真言        | 14 |
| 回向ノ文        | 15 |
| ご宝号         | 16 |
| ご唱名         | 17 |
| 薬師如来陀羅尼     | 18 |
| 阿弥陀如来根本陀羅尼  | 19 |
| 發願文         | 20 |
| 地藏菩薩贊和      | 21 |
| 大悲心陀羅尼（真言宗） | 22 |
| 大弁才天秘密陀羅尼經  | 24 |

|             |    |
|-------------|----|
| ご真言集        | 26 |
| 七福神真言       | 29 |
| 大悲心陀羅尼（曹洞宗） | 30 |
| 馬頭觀世音陀羅尼    | 32 |
| 卻瘟神呪        | 34 |
| 鐘の知識を勧め唱うる文 | 35 |
| 祝詞集         |    |
| 禊祓祝詞        | 36 |
| 稻荷祝詞        | 38 |
| 稻荷心經        | 39 |
| 龍神祝詞        | 40 |
| 大祓詞         | 42 |
| 天満宮祝詞       | 46 |

|          |    |
|----------|----|
| 伊勢下宮神前祝詞 | 48 |
| 伊勢内宮神前祝詞 | 50 |
| 神社拜詞     | 52 |
| 神棚拜詞     | 52 |
| 祖靈拜詞     | 53 |

付録

|                |    |
|----------------|----|
| 妙法蓮華經。方便品。第二五四 |    |
| 觀音經偈           | 58 |

かいきょうげ

# 開經偈

むじょーじんじん みみょーほー

無上甚深微妙法

がこんけんもん とくじゅーじ

我今見聞得受持

ひやくせんまんごうなんそーぐー

百千万劫難遭遇

がんにげによらいじんじつぎー

願解如來真實義

さんげもん

# 懺悔文

がしやくしよぞうしよあくごう

我昔所造諸惡業

じゅうしんごいし しよしよ

從身語意之所生

かいゆ むし とんじんち

皆由無始貪瞋痴

いっさいがこん かいざんげ

一切我今皆懺悔

ぶつせつ まか はんにや はらみた しんぎよー

# 佛說摩訶般若波羅蜜多心經

かんじーぎいぼーきー ぎようじん はんにやーはーらーみーたーじー しようけんご

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五

うんかいこう ど いつたいくーやく しゃりりーし ときふーいーくーくうふー

蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不

いーしき ときそくぜーくー くーそくぜーしき じゆそうぎようしきやくぶーによー

異色色即是空空即是色受想行識亦復如

ぜーしゃりりーし ぜーしよーほーくーそー ふーしよーふーめつ ふーくーふーじよー

是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨

ふーぞーふーげんぜーこーくーちゅーむーしきむーじゅーそーぎよーしきむーげ、  
 不増不減是故空中無色無受想行識無眼  
 にーびーぜっしんに　むーしきしよーこーみーそくほーむーげんかいな  
 耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至  
 むーいーしきかい　むーむーみよーやく　むーむーみよーじんないし　むーろーし  
 無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死  
 やく　むーろーしーじん　むーくーしゅーめつどー　むーちーやく　むーとく　いーむー  
 亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無  
 しよーとつ　こ　ぼーだいさつた　えー　はんにやーはーらーみーたーこ　しんむー  
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無  
 けーげー　むーけーげーこ　むーうーくーふー　おんりーいつさい　てんどーむー  
 罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢

そーくーぎよーねーはん さんぜーしよーぶつー えーはんにやーはーらーみーたーこ  
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故

とく あーのくたーらーさんみやくさんぼーだい こーちー はんにやーはーらーみー  
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

たーぜーだいじんしゆ ぜーだいみよーしゆ ぜーむーじよーしゆ ぜーむーとーどー  
多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等

しゆのーじよーいつさいくーしんじつふーこーこ せつ はんにやーはーらーみー  
咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜

たーしゆ そくせつしゆーわつ ぎやーてーぎやーてー はーらーぎやーてー はらそー  
多呪即說咒曰羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧

ぎやーてーぼーじ そわかー はんにやーしんぎよー  
羯諦菩提薩婆訶般若心經

般若理趣經（百字偈）

ほさつしよーけいしや だいしーしんせーし こうさくしゆーせいりー

菩薩勝慧者 乃至尽生死 恒作衆生利

じーふーしゆーでっぱん ふあんじやーきゆうほうべん ちーとーしつかーちー

而不趣涅槃 般若及方便 智度悉加持

しよーほーきゆうしよーゆー いっせいかいせいせい よくとーちよーせーかん

諸法及諸有 一切皆清淨 欲等調世間

れいとくせーちよーこ ゆうてーきゆうあくしゆ ちよーふくしんしよーゆう

令得淨除故 有頂及惡趣 調伏尽諸有

じよーれんてーほんぜん ふーいーこーそーぜん しよーよくせいえきぜん

如蓮體本染 不為垢所染 諸欲性亦然

ふーぜんりーきんせい たいよくとくせいせい たいあんらくふーじよう

不染利群生 大欲得清淨 大安樂富饒

さんかいとくしーさい のうさーけんこーり

三界得自在 能作堅固利

じゅうさんぶつ しんごん  
十三佛真言

三遍又は七遍

ふどうみようおう  
不動明王

のうまくさんまんだーばーざらだん

せんだん まーかろしやーだーそわたや

うんたらたーかんまん

しやかによらい  
釈迦如来

のうまくさんまんだーぼだなん ばく

もんじゅぼさつ  
文殊菩薩

おん あらはしやのう

ふげんぼさつ  
普賢菩薩

おん さんまや さとばん

じぞうぼさつ  
地藏菩薩

おん かかかびさんまーえい そわか

みろくぼさつ  
弥勒菩薩

おん まいたれいや そわか



やくしによらい  
薬師如来

おん ころころ せんたり まとうぎ そわか

かんぜおんぼさつ  
観世音菩薩

おん あろりきや そわか

せいしほさつ  
勢至菩薩

おん さんざんざんさく そわか

あみだによらい  
阿弥陀如来

おん あみりた ていせい からうん

あしゆくによらい  
阿閼如来

おん あきしゅーびやうん

だいにちによらい  
大日如来

おん あびらーうんけん ばざらー

だとばん

こくうぞうぼさつ  
虚空蔵菩薩

のうぼう あきやしやー ぎやらばや  
おんありきやー まりぼり そわか

# 六観音真言

(七観音)

しょうかんぜおんぼさつごしんごん  
聖観世音菩薩御真言

おんあろりきやそわか

じゅういちめんかんのんごしんごん  
十一面観音御真言

おんまかきやろにきやそわか

にょいりんかんのんごしんごん  
如意輪観音御真言

おんはんどめいーしんだまにーじんばらうん

ふくうけんじやくかんのんご しんごん  
不空罽索観音御真言

おんはんどまだらあぼきやー じゃやでい  
そろそろ そわか

せんじゆかんのんご しんごん  
千手観音御真言

おんばざらーたらまーきりく

じゆんていかんのんご しんごん  
准胝観音御真言

おんしやれい それい そんでい そわか

ばとうかんのんご しんごん  
馬頭観音御真言

おんあみりとどはんばうんぱった

舍利禮文 しゃりらいもん

一心頂禮 いっしんちようらい

真身舍利 しんじんしゃり

我等禮敬 がとうらいきよう

佛加持故 ぶつかじこ

利益衆生 りやくしゅじよう

同入円寂 どうにゆうえんじやく

万徳円満 まんとくえんまん

本地法身 ほんじほっしん

為我現身 いがげんしん

我証菩提 がしよほだい

發菩提心 ほつほだいしん

平等大智 びようどうだいち

釈迦如来 しゃかによらい

法界塔婆 ほっかいとうば

入我我入 にゅうががにゅう

以佛神力 いぶつじんりき

修菩薩行 しゅほさつぎよう

今將頂禮 こんじようちようらい

えんめいじゅつつかんのんきょう

# 延命十句観音経

かんぜおん

なむぶつ

観世音

南無仏

よぶつういん

よぶつうえん

ぶつぽうそうえん

与仏有因

与仏有缘

仏法僧縁

じょうらくがじょう

常楽我常

ちょうねんかんぜおん

ぼねんかんぜおん

朝念観世音

暮念観世音

ねんねんじゅうしんき

ねんねんふりしん

念念従心起

念念不離心

こうみょうしんごん

# 光明真言

おん。あぼきやーべいろしやのう まか  
ぼだらーまに はんどま じんばら は  
らばりたや うん

各宗派 ご名号

念仏、お題目 唱和

願がん以に此し功く徳どく  
普ふ及ぎ於ゆう一お切いっさい

我が等とう与よ衆しゅ生じょう  
皆かい共ぐ成じょう佛ぶつ道どう

回え向こうノ文もん

願ねがわくばこの功く徳どくを以もつて普あまねく一いっ切さいに

及およびし我われら等しゅと衆じょう生しゅうと皆みな共ともに佛ぶつ道どうを

成じょうせんことを

# ご宝号

弘法大師空海

南無大師遍照金剛

なむだいしへんじょうこんごう

花山法皇 かざんほうおう

南無花山入覚大法皇

なむかざん にゅうがく だいほうおう

伝教大師最澄 でんぎょうだいし

南無根本伝教大師福聚金剛

なむこんぽん でんぎょうだいし ふくじゅこんごう

聖徳太子 しょうとくだいし

南無帰命頂礼聖徳太子救世菩薩

なむ きみょうちょうらいし しょうとくだいし ぐぜぼさつ



# ご唱名

真言宗

南無大師遍照金剛

浄土宗・浄土真宗・天台宗・時宗など

南無阿弥陀仏

臨濟宗・黄檗宗・曹洞宗

南無釈迦牟尼仏

日蓮宗・法華宗など

南無妙法蓮華経

# 薬師如来陀羅尼

## 中咒

オン　ビセイゼイ　ビセイゼイ　ビセイゼイ　ビセイゼイ  
サンボリギヤテイ　ソワカ

## 大咒

ノウモ　バギヤバテイ　バイセイジヤ  
クロ　ベイルリヤ  
ハラバ　アラジヤヤ　タタギヤタヤ　アラカテイ  
サンミヤクサンボダヤ　タニヤタ  
オン　バイセイゼイ　バイセイゼイ  
バイセイジヤ  
サンボリギヤテイ　ソワカ

○阿彌陀如來根本陀羅尼

曩謨囉怛曩。囉夜耶。娜莫阿哩野。彌哆婆  
耶。怛陀孽跢夜囉曷帝。三藐三沒駄耶。怛僮  
也。他唵阿蜜唎帝。阿蜜唎妬納婆吠。河蜜唎  
多。三婆吠阿蜜唎多。孽階阿蜜唎多。悉帝阿  
蜜唎多。帝際阿蜜唎多。尾訖磷帝。阿蜜唎多  
尾訖磷多。誡蜜寧。阿蜜唎多。誡曩吉底迦  
嚩阿蜜唎多。嫩弩毗娑嚩嚩。嚩薩嚩囉佉娑駄  
寧。薩嚩羯磨。訖禮捨。乞灑孕迦嚩。娑嚩賀。

發願文

死の縁は無量なりいつも臨終の思いになつて唱えよ

願弟子等臨命終時心不顛倒心

不錯亂心不失念身心無諸苦痛

身心快樂如入禪定聖眾現前乘

佛本願上品往生阿彌陀佛國到

彼國已得六神通入十方界救攝

苦眾生虛空法界盡我願亦如是

發願已至心歸命阿彌陀佛

# 地藏菩薩贊和

なゝむゝじつぽうぶつー      なゝむゝじつぽうほうー      なゝむゝじつぽうそうー

南無十方佛      南無十方法      南無十方僧

なゝむゝほんしーしやーかゝむゝにーぶつ

南無本師釋迦牟尼佛

なゝむゝじぞーほんがんきょうとういっさいほうぞう

南無地藏本願經等一切法蔵

なゝむゝさんぜーいっさいけんじょーそうしゅう

南無三世一切賢聖僧衆

なゝむゝじぞーぼーさーまーかゝさつ

南無地藏菩薩摩訶薩

おん    かかかび    さんま    えい    そわか（三唱）

# 大悲心陀羅尼

(真言宗)

のうぼう。あらたんのう たらやあや。

のうぼありや。ぼろきてい。じんばらや。

ぼうじ さとばや。まかさとばや。

まかきやろにきやや。おんさらばら

ばえいしゆ。たんのうだしや。のうぼう。

そきりたばい もうありや。ぼろきてい。

じんばらりようだば。のうぼう。ならきんじ。

けいりまばたしやめい。さらばあたづしめぼう。

あせいよう。さらばぼたのう。まばばぎや。

まぼどづ。たにやた。おんあぼろけいろきやてい。

きやらてい。いけいりまかぼうじさとば。

さらばさらば。まらまら。まま。けいりだよう。

くろくろきやらぼう。どろどろ。ばじややてい。

まかばじややてい。だらだら。ちりにじんばらや。しやらしや。

まま。ばつまら。ぼくていれい。

いけい いけい。しつだ しつだ。あらさんはらしやり。  
ぼしやばさん。はらしやや。ころころ。まら。  
ころけいり。さらさら。しりしり。そろそろ。  
ぼうじやぼうじや。ぼうだやぼうだや。  
みていりや。ならきんじ。だりしゆにのう。

はやまのう。そわか。しつだや。そわか。

まかしつだや。そわか。しつだゆけい。じんばらや。そわか。  
ならきんじ。そわか。まらならしつら。そわか。

ぼきやや。そわか。はまかしつだや。そわか。

しやきやらあしつだや。そわか。

はんどまきやしつだや。そわか。

ならきんじ。ばぎやらや。そわか。

まばりしようぎやらや。そわか。

のうぼう。あらたんのう。たらやあや。

のうぼうありや。ばろきてい。じんばらや。そわか。

# 大弁財天女秘密陀羅尼經

にーじーぶつ  ごうしよ  だいしゆ  によとう  そくしつ  しゆぎよう  しほう

爾時仏  告諸大衆  汝等速疾  修行此法

しゆじー  ぜーきよう  いっさい  しんごん  ぎようきようろんとう  じーねんじようじゆ

受持是經  一切真言  及經論等  自然成就

いっさい  ふく  しゆうてんごうらいじゆう  ぢーゆーじゆつ  そくきよう  だんどー

一切福  從天降來從  地湧出  速行檀度

ごんしょう  ぼーだい  にーじー  たいしゆーごん  みんながっしょう  せーほう  しんじゆ

頓證菩提  爾時大衆言  愍合掌  是法信受

じーうーかーしんししようおう  じゆーびやくぶつ  かーとう  しーそん

時宇賀神將王  重白仏  我等子孫

けんそく  しーるい  さんまんろくせんになや  かいぜー  じーざい  じんりき

眷屬之類  三万六千人也  皆是自在神力



うーちん ほうてんか

むーひーるい

どうおん ほつ

雨珍宝天下 無比累 同音癸

だいせーかん

にーせつ げーごん

大誓願 而説偈言

にやく う びんぐうにん

えじき

じょうぼくしょう

いちが

もん

みょうごう

若有貧窮人 衣食常乏小 一我聞名號

にやく ふーじょうじゆしやーがーだ

むーけんごくきょう

むーりょーこうじう

若不成就者我墮 無限獄經 無量劫終

ごしや おぶつ ほう

だいべんぎいてんによ

ひみつだらにきょう

吾捨於仏法 大弁財天女 秘密陀羅尼經

# 真言集

## 愛染明王

おん まーから ぎやばぞろ しゅにしゃー  
ばーざら さとばー じゃくうん ばーんこく

## 秋葉大権現

おん ぴらぴら けん ぴらけんのう そわか

## 宇賀神

なむびやくだぎょう うがやじゃやぎやらべい しんだまに びんでんうんそわか

## 八大龍王

ばん あみだぶつ おん さらすわてい えい そわか

## 龍神

おんめい げしやに えい そわか

## 制多迦童子

おん きやらまー うんぱった なん

## 矜羯羅童子

おん だらまー ちしゆた さら

## 日光菩薩

おん そりや はらばや そわか

## 月光菩薩

おん せんだら はらばや そわか

孔雀明王

おん まやらぎらん でい そわか

閻魔大王

のうまく さんまんだ ぼだなん えんまや そわか

金剛夜叉明王

おん ばさら やきしゅ うん

軍荼利明王

おん あみりてい うん はった

降三世明王

おん にそんば ばさら うん はった

大威徳明王

おん しゅちり きやらろは うん けん そわか

烏枢沙摩明王

おん くらだなう うんじゃく そわか

訶梨帝母 (鬼子母神)

おん ごとまり ぎやきてい そわか

大元帥明王

のうぼう　たりつ　たぼりつ　はらぼりつ　しゃきんめい　しゃきんめい　たら  
さんだん　おえんび　そわか

吉祥天

おん　まか　しゆりえい　そわか

歡喜天

おん　きりく　ぎやく　うん　そわか

持国天

おん　ぢりたら　しゆたら　らら　はら　まだな　そわか

增長天

おん　びろだきや　やきしや　ぢはた　えい　そわか

広目天

おん　びろばくしや　のうぎや　ぢはた　えい　そわか

毘沙門天（多聞天）

おん　べいしらまんだや　そわか

# 七福神真言

弁財天 おん さらすわてい えい そわか

寿老人 おん ばさら ゆせい そわか

布袋尊 おん まいたれいや そわか

福祿寿 おん まかりし そわか

大黒天 おん まか きやらや そわか

恵比寿尊 おん いんだらや そわか

毘沙門天 おん べいしらまんだや そわか

千手千眼觀自在菩薩 廣大円満無礙大悲心 陀羅尼

(曹洞宗 臨濟宗)

なむからたんのーとらやーや。 なむおりやー

南無喝囉怛那哆羅夜耶 南無阿唎耶

ぼりよきーちー しふらーや。 ふじさとぼーや。 もこさとぼーや。

婆盧羯帝 爍鉗囉耶 菩提薩埵婆耶 摩訶薩埵婆耶

もーこーきやーるに きやーやーえん

摩訶 迦盧尼 迦耶 唵

さーはらはーえい しゅーたんのーとんしゃー。

薩幡囉罰曳 數怛那怛寫

なむしきりーといもー おりや。 ぼりよきーちー しふらー りんとーぼし。

南無悉吉利埵伊蒙阿唎耶 婆盧吉帝 室佛囉楞駄婆

なむのーら。 きんじーきりー。 もーこーほーど。 しゃーみーさーぼ。

南無那囉 謹墀 醯唎 摩訶幡呼 沙吽薩婆

おーとーじよーしゅーん。 おーしゅーいん さーぼーさーとーのーもーぼーぎや。

阿他豆輸朋 阿逝孕 薩婆薩呼 那摩婆伽

もーはてーちよ。 とーじーとーえん。 おーぼーりよーき。 るーぎやーちー

摩罰特豆 怛姪他 唵 阿婆盧醯 盧迦帝

きやーらーち。 いーきり。 もーこーふじさーと。 さーぼーさーぼ。

迦羅帝 夷醯唎 摩訶菩提薩埵 薩婆薩婆

もーらーもーら。 もーきーもーきりーとーいん。 くーりよーくーりよーけーもー

摩囉摩囉 摩醯摩醯 唎駄孕 俱盧俱盧羯 蒙

とーりよーとーりよ。 ほーじやーやーちー もーこーほーじやーやーち。

度盧度盧 罰闍耶帝 摩訶罰闍耶帝

とーらーとーら。 ちりにー しふらーや。 しゃーろーしゃーろ。

陀囉陀囉 地利尼 室佛囉耶 遮囉遮囉

もーもーはーもーら。 ほーちりー。 ゆーきーゆーきーしーのーしーのー。

摩摩 罰摩囉 穆帝隸 伊醯伊醯 室那室那

おらさーふらしやーり。 はーざーはーざー。 ふうしやーや。

阿囉參佛囉舍利。 罰沙罰參。 佛囉舍耶。

くーりよーくーりよーもーらー。 くーりよーくーりよーきーりー

呼盧呼盧。 摩囉。 呼盧呼盧。 醯利。

しやーろーしやーろー。 しーりーしーりー。 すーりよーすーりよー。

娑囉娑囉。 悉利悉利。 蘇嚧蘇嚧。

ふじやーふじやー。 ふどやーふどやー。 みーちりやー。

菩提夜菩提夜。 菩馱夜菩馱夜。 彌帝唎夜。

のらきんじ。 ちりしゆ。 にのし。 ほやもの。 そもこ。

那囉謹墀。 地利瑟尼那。 婆夜摩那。 娑婆訶。

しどやー。 そもこ。 もこしどやー。 そもこ。 しどゆーきー

悉陀夜。 娑婆訶。 摩訶悉陀夜。 娑婆訶。 悉陀喻藝。

しふらーやー。 そもこ。 のらきんじー。 そもこ。 もーらーのーらー

室幡囉夜。 娑婆訶。 那囉謹墀。 娑婆訶。 摩囉那囉。

そもこ。 しらすーおもぎやーやー。 そもこ。 そぼもこしどやー

娑婆訶。 悉囉僧阿穆佉耶。 娑婆訶。 娑婆摩訶悉陀夜。

そもこ。 しやきらーおしどーやー。 そもこ。 ほどもぎや。 しどやー

娑婆訶。 者吉囉阿悉陀夜。 娑婆訶。 波陀摩羯悉陀夜。

そもこ。 のらきんじーはーぎやらやー。 そもこ。

娑婆訶。 那囉謹墀。 幡伽囉耶。 娑婆訶。

もーほりしんぎやらやー。 そもこ。 なむからたんのーとらやーや。

摩婆唎勝羯囉耶。 娑婆訶。 南無喝囉怛那哆羅夜耶。

なむおりやー。 ぼりよきーちー。 しふらーやー。 そもこ。

南無阿唎耶。 婆盧吉帝。 爍幡囉耶。 娑婆訶。

してどー。 もどらー。 ほどやー。 そもこ。

悉殿都。 漫哆囉。 跋陀耶。 娑婆訶。

# 馬頭觀世音陀羅尼

ナモ・ラトナ・トラヤーヤ

ナマー・アーリヤー・バロキテ・スバラヤーヤ

ボデイサツトバーヤ・マハーサツトバーヤ

マハーカールニカーヤー

エビヨ・ナマスクルトバー・イダム

アリヤー・バロキテ・スバラ

ムクホドギーマン・ハヤグリバ・フルダヤ

マーバルツタ・イシヤーミ・エヒエイ

マハーマツラ・バジュラナクハ

バジュラロマ・バジュラケサ

バジュラクフラ・バジュラダムシヨラ

ハナ・ハナ・ダハ・ダハ・パカ・パカ

グルナ・グルナ・バンダ・バンダ

ランガ・ランガ・ハサ・ハサ

ジャルダ・ジャルダ・ルートウ・ルートウ



ドウナ・ドウナ ビドウナ・ビドウナ

マザー・マザー・カンパ・カンパ

カダ・カダ・サルバ・デバーム

サルバ・ナーガーム サルバ・ヤクシヤム

サルバ・ビヘザカーム サルバ・ビサーム

プラビスタ・プラビスタ ハヤグリーバ・ビサスリヤ

プラジュバラ・プラジュバラ アービサ・アービサ

バジュラクナ・マビラムバ ブツダ・ダルマ・サンガ

バカナ・マヌマラ・ジャテイ マヌマラ・フルダヤ

マヌマラ・ビキーラ・ビキーラ

ガルジャ・ガルジャ ナダーム・ナダーム

マダ・マダ・グル・グル ニハナ・ニハナ

フン・フン・パット・パット スバーハー。

おんあみりとどはんばうんぱったそわか (三唱)

# 卻瘟神呪

(ぎやくおんじんしゅ)

なむふどやーなむだもやー

なむすんぎややーなむじっぽーしーぶー

なむしーぶー さーもこさー

なむしーしんすん なむしゅうしー

さらぎやーさらぎやーさらぎやー

むとなんきーあぎやにーきー

にぎやしーきーあぎやなーきー

はらにーきー あびらーきー

はーだいらーきーしっこうしっこう

まくとく くじゅう

鐘の知識を勧め唱うる文

いちだ しょうせい どうがん しゅじょう

一打鐘聲、當願衆生、

だつ さんかい く とくけん ぼだい

脱三界苦、得見菩提

訳

「鐘をひとつ打つごとに、生きとし生けるものが  
欲界・色界・無色界のすべての苦しみから解脱し、  
安らかな悟りの境地を得ることを願え

みそぎはらい のりと

# 禊祓祝詞

たかま はら かむづま

高天の原に神留ります

かむろぎ かむろみ みこと も

神漏岐・神漏美命 以ちて

すめ みおや かむ いざなぎのみこと

皇 御祖 神 伊邪那岐命

つくし ひむか たちばな おど あはぎはら

筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原に

みそぎはら たま とき あ

禊 祓い 給う時に生れませる

はらいど おおかみたち

# 祓戸の大神達

もろもろ

まがこと

つみけがれ

# 諸々の禍事 罪穢を

はら

たま

きよ

たま

まお

こと

よし

# 祓い給い 清め給えと白す事の由を

あまつかみ

くにつかみ

やおよろず

かみたちとも

# 天津神・国津神・八百万の神等共に

きこ

め

かしこ

かしこ

まお

# 聞き食せと 恐み 恐み 白す

# 稻荷祝詞

かけまく かしこ いなりおほかみ おほまえ かしこ かしこ まを

掛卷も畏き稻荷大神の大前に 恐み恐みも白さく

あした ゆふべ いそ つと いへ なりはひ ゆる ことな おこた ことなく

朝に夕に勤しみ務むる家の産業を緩む事無く怠る事無く

いやすす すす たま いや たす たす たまひて

彌獎めに獎め給ひ 彌助けに助け給ひて

いへかどたかく ふ おこ たま かきは ときは いのちなが

家門高く吹き興さしめ給ひ 堅磐に常磐に命長く

うみのこ やそつづき いた いかし やくはえ ごと

子孫の八十続に至るまで 五十榎八桑枝の如く

た さか たま いへ み まがかみ まがごとあ たま

立ち栄へしめ給ひ 家にも身にも枉神の枉事有らしめ給はず

あやま おか こと あ かむなほび おほなおび みなほ き なほ

過ち犯す事の有らむをば 神直日大直日に見直し聞き直し

ま よ まもり ひ まもり まも さき たま かしこ かしこ まを

坐して 夜の守 日の守に守り幸はへ給へと恐み恐みも白す

# 稻荷心經

ほんたいしんによーじゅーくーり

じやくじょうあんらくむーいーしゃ

本体真如住空理

寂靜安樂無為者

きょうちーびーひりーしようこー

うんどうこうらいみようこーじん

鏡智慈悲利生故

運動去來名荒神

こんしーさんがい かいぜーが

うごちゅーしゅーじよう しーつーぜー

今此三界皆是我

有其中衆生悉是

ごーし ぜーほう じゅーほうい

せけんそうじようじゅーとんじんちし

吾子是法住法位

世間相常住貪瞋癡之

さんどくぼんのうかいとくげだつ

そくとくげーだつ

三毒煩惱皆得解脱

即得解脱

ぎやーてーぎやーてはーらーぎやーて

はらそうぎやーてー ぼーじそわか

掲諦掲諦

波羅掲諦

波羅僧掲帝

菩提薩婆訶

たしゅ そくせつ しゅわつ

多呪即說呪日

オン キリカク ソワカ

(三唱)

オン シラバツタ ニリ

ウン

ソワカ (三唱)

# 龍神祝詞

たかあまはら ま ま

高天原に坐し坐して

てん ち みはたら あらわ たま りゅうおう

天と地に御働きを現し給う龍王は

だいうちゅうこんげん みおや みつか

大宇宙根元の御祖の御使いにして

いっさい う いっさい そだ

一切を産み一切を育て

よろずのもの ごしはい たま おうじん

萬物を御支配あらせ給う王神なれば

ひふみよ いむなや こと とくさ みたから

一二三四五六七八九十の十種の御寶を

おの へん たま

己がすがたと変じ給いて

じざいじゅう てんかい ちかい じんかい おさ たま

自在自由に天界地界人界を治め給う

りゅうおうじん どうと うやま

龍王神なるを尊み敬いて



まこと むね ひとすじ みつか もう よし  
眞の六根 一筋に 御仕え申すことの由を

う ひ たま  
受け引き給いて

おろ ところ かずかず いまし たま

愚かなる心の 数々を 戒め給いて

いっさいしゅじょう つみけがれ ころも ぬ たま

一切衆生の 罪穢れの衣を 脱ぎさらしめ 給いて

よろずのもの やまいわざわい たちどころ はら きよ たま

萬物の 病災をも 立所に 袂い清め給い

よろずせかい みおや おさ たま

萬世界も御親のもとに治めしせめ給へと

こいねがい たてまつ よし

祈願 奉ることの由をきこしめして

むね うち ねん まお だいがん じょうじゆ たま

六根の内に念じ申す 大願を成就なさしめ給へと

かしこ かしこ まお

恐み 恐み 白す

大祓詞

高天原に神留り坐す 皇親神漏岐 神漏美の命以  
ちて 八百萬神等を神集へに集へ賜ひ 神議りに

議り賜ひて 我が皇御孫命は 豊葦原水穗國を  
安國と平けく知ろし食せと 事依さし奉りき 此  
く依さし奉りし國中に 荒振る神等をば 神問は  
しに問はし賜ひ 神掃ひに掃ひ賜ひて 語問ひし  
磐根 樹根立 草の片葉をも語止めて 天の磐座  
放ち 天の八重雲を伊頭の千別きに千別きて 天  
降し依さし奉りき 此く依さし奉りし四方の國中

と 大倭日高見國を安國と定め奉りて 下つ磐根  
 に宮柱太敷き立て 高天原に千木高知りて 皇御  
 孫命の瑞の御殿仕へ奉りて 天の御蔭 日の御蔭  
 と隠り坐して 安國と平けく知ろし食さむ國中に  
 成り出でむ天の益人等が 過ち犯しけむ種種の罪  
 事は 天つ罪 國つ罪 許許太久の罪出でむ 此  
 く出でば 天つ宮事以ちて 天つ金木を本打ち切  
 り 末打ち断ちて 千座の置座に置き足らはして  
 天つ菅麻を本刈り断ち 末刈り切りて 八針に取  
 り辟きて 天つ祝詞の太祝詞事を宣れ  
 此く宣らば 天つ神は天の磐門を押し披きて 天

の八重雲を伊頭の千別きに千別きて聞こし食さ

む 國つ神は高山の末 短山の末に上り坐して

高山の伊褒理 短山の伊褒理を搔き別けて聞こし

食さむ 此く聞こし食してば 罪と云ふ罪は在ら

じと 科戸の風の天の八重雲を吹き放つ事の如く

朝の御霧 夕の御霧を 朝風 夕風の吹き拂ふ事

の如く 大津邊に居る大船を 舳解き放ち 艫解

き放ちて 大海原に押し放つ事の如く 彼方の繁

木が本を 焼鎌の敏鎌以ちて 打ち掃ふ事の如く

遺る罪は在らじと 祓へ給ひ清め給ふ事を 高山

の末 短山の末より 佐久那太理に落ち多岐つ

速川の瀬に坐す瀬織津比賣と云ふ神 大海原に持  
 ち出でなむ 此く持ち出で往なば 荒潮の潮の八  
 百道の八潮道の潮の八百會に坐す速開都比賣と云  
 ふ神 持ち加加呑みてむ 此く加加呑みてば 氣  
 吹戸に坐す氣吹戸主と云ふ神 根國 底國に氣吹  
 き放ちてむ 此く氣吹き放ちてば 根國 底國に  
 坐す速佐須良比賣と云ふ神 持ち佐須良ひ失ひて  
 む 此く佐須良ひ失ひてば 罪と云ふ罪は在らじ  
 と 祓へ給ひ清め給ふ事を 天つ神 國つ神 八  
 百萬神等共に 聞こし食せと白す

# 天満宮祝詞

かけまくも かしこき あまみつ あめのかみの ひろまへに まをす

掛卷も 畏き 天満天神の 廣前に 白す

うやうやしく おもんみれば みかどを たすけまつり よものくにに のりだし

恭 惟れば 帝道を 輔佐り 四海に 儀刑し

くにいへを まもり おほみたからを やしなひたまひて まめやかなることは

邦家を 守護 萬民を 撫育座て 忠誠は

ひつきとならび うつくしみの めぐみは あめつちと ひとしくまし

日月と並 仁恩は 天地と 齋座

また ふみのみちの おやからうた やまとうたの もとつぬしにまし

又 文道の 大祖詩 歌の 本主に座し

たかき いきほひ あしはらの なかつくにより うみへだつる あだしくにぐにまで

高德 葦原の中國より 海隔る 異國々まで

とりのあと ひさしくとどまり まさきのかづら ながくつたはり たかきも いやしきも

鳥の跡 久止 正木の葛 永傳 貴も 賤も

おひたるも わかきもみな みたまのふゆをかふむりて

老たるも 若も皆 恩頼を蒙

ふみよみもの かくわぎをなし

よをわたらひ

いへをしらす

誦文 書能業を為し 世を渡らひ 家を治溜

あつきみめぐみ つかき うつくしみを あふぎ たふとみ たてまつりて

厚き御恵 深き御恩を 仰ぎ 尊美 奉て

けふのあさひの とよさかのぼりに ゆきのみき みけ

今日の朝日の 豊榮登に 由貴の御酒 御饌

うづのみてくらを ささげまつり いのりまをすことの上しを たいらげく やすらげく

宇豆の御を 捧幣 祈申事の由を 平げく 安げく

きこしめして あまつひつきは あめつちひつきと かぎりなく あめのした たいらかに

聞食て 天津日嗣は 天地日月と 無疆 天下 泰平に

おほか みたから とみ さかへて ふみの をしえ ながくひさしく まなびのわぎ

萬民 富榮て 文教 永久 學術

ならん ことを ことほぎ ねぎたてまつる

成就ん事を 言祝願

かみのみうまの みみのいやたかに きこしめして よのまもり ひのまもりに

神の御馬の 耳の彌高に 聞食て 夜の守 日の護に

まもりさきはえたまへと たたへこと をへまつると かしこみかしこみも まをす

守幸給へと 稱辭 竟奉と 恐み恐みも 申す

# 伊勢外宮神前祝詞

かむかぜの いせくに わたらいの

神風の 伊勢国 度会の

やまだのはらの したつ いわねに

山田の原の 底津石根に

おおみやばしら ふとしきたて たかまのはらに ちぎたかしりて

大宮柱 太敷立 高天原に千木高知りて

しずまり まします とつみやとようけの すめおおがみ またのみなは

鎮り座坐す 外宮豊受皇大大神 亦の御号は

うけもちのおおかみとも いなりのおおかみとも もうしたてまつりて

保食大神とも 稻荷大神とも 申奉て



あおひとぐさらが　くいていくべき　いつくさのたなつものをはじめ

蒼生等が　喰て生べき　五穀を始め

もろもろのおしものきものにといたるまでに　なしさきわえたまう

諸の食物衣物に至る及に　生幸へ給ふ

ひろくあつき　みめぐみに　むくいたてまつると

広く厚き　御恵みに　報い奉ると

たたえごとおえまつりて　おろがみ　たてまつるさまを

称辞　竟奉て　拝み　奉る状を

たいらけく　やすらけく　きこしめせとかしこみかしこみまおす

平けく　安けく　聞食と　恐み恐みも白す

# 伊勢内宮神前祝詞

かむかぜのいせのくに さくすず いすずのはらの

神風の伊勢国 拆鈴 五十鈴原の

しもずいわねに おおみやばしらふとしきたて たかまのはらに

底津石根に 大宮柱 太敷立 高天原に

ちぎたかしりて しずまりまします

比木高知て 鎮り座坐す

かけまくも あやにとうとき あまてらすすめおおみかみ またのみなは

掛巻も 綾に尊き 天照皇大御神 亦の御称は

つきさかき いずのみたま あまかざる むかつびめのみこと

撞賢木 巖之御魂 天疏 向津比売之命

あまてらすおおひるめのみことの

天照大日靈之命の

おおみかどを いわいまつりて いわまくも かしこれど

大朝廷を祝斎て 云卷も 畏加礼と

あまつ ひつぎ しろしめ すすめらみことの おおみよを

天津日嗣 食 皇命の 大御代を

ときわに かわに まもり たてまつりたまひ

常磐に 堅磐に護り 奉給ひ

うつしき あおひとくさをも めぐみさきわえたまへる

現き 青人草をも 恵み幸へ給へる

ひろくあつき みめぐみに むくいたてまつると

広く厚き 御恩頼に 報ひ奉ると

たたえごと おえまつりて おろがみ たてまつるさまを

称辞 竟奉りて 拜み 奉る状を

たいらけく やすけく きこしめせと かしこみかしこみも まおす

平けく 安けく 聞食と 恐み恐みも 白す

神じん社じや拜はい詞し

掛かけまくも畏かしこき 何おほ神まへ社をのま大ま前をを拜まみ奉まつりて 恐かしこ

み恐かしこみも白まをさく 大おほ神かみ等たちの廣ひろき厚あつき御み惠めぐみを辱かたじけなみ奉まつ

り 高たかき尊たふとき神み教をしへのまにまに 天すめらみこと皇を仰あふぎ奉まつり

直なほき正ただしき真まごころ心もちもちて 誠まことの道みちに違たがふことなく

負おひ持もつ業わざに勵はげましめ給たまひ 家いへ門かど高たかく身み健すこやかに 世よ

のため人ひとのために盡つくさしめ給たまへと 恐かしこみ恐かしこみも白まを

す

神かみ棚だな拜はい詞し

此これの神かみ床どこに坐ます 掛かけまくも畏かしこき 天あま照てらす大おほ御み神かみ

産うぶすなの土おほ大かみ神たち等の大おほ前まへを拜まみ奉まつりて 恐かしこみ恐かしこみも白まをさ

く 大おほ神かみ等たちの廣ひろき厚あつき御み惠めぐみを辱かたじけなみ奉まつり 高たかき尊たふとき

神教をしへのまにまに 直なほき正ただしき眞心まごころもちて 誠まことの道みち  
に違たがふことなく 負おひ持つ業わざに勵はげましめ給たまひ 家いへ  
門かど高たかく 身み健すこやかに 世よのため人ひとのため 盡つくさしめ給たま  
へと 恐かしこみ恐かしこみも白まをす

祖靈拜詞

代よ代よの先祖おやたち等ら (何某の御靈たま) の御前まへを拜をろがみ奉まつりて  
慎つつしみ敬うやまひも白まをさく 廣ひろき厚あつき御惠めぐみを辱かたじけなみ奉まつり 高たか  
き尊たふとき家訓みせしへのまにまに 身みを慎つつしみ業わざに勵はげみ 親族うから  
家や族から諸もろ諸もろ心こころを合あはせ 睦むつび和なごみて 敬うやまひ仕つかへ奉まつる 状さま  
を 愛めぐしと見みそなはしまして 子孫うみのこの八や十そ續つづき  
至いたるまで 家門いへかど高たかく立たち榮さかえしめ給たまへと 慎つつしみ敬うやま  
ひも白まをす

みょうほう れん げーきょう ほう べん ぼん だいにー

### 妙法蓮華經。方便品。第二

にーじーせーそん じゅうさん まい あんじょうにーきー ぎーしゃり ぼつ

爾時世尊。從三昧 安詳而起。告舍利弗。

しよーぶつ ちーえー じん じん むーりょう ぎーちーえーもん なん げーなんにゆう

諸仏智慧。甚深無量。其智慧門。難解難入。

いっさいしよーもん ひやくしーぶつ しよーふーのーちー しよーいーしゃーがー

一切声聞。辟支仏。所不能知。所以者何。

ぶつ ぞう しん こん ひやくせん まん のく むーしゅーしよーぶつ

仏會親近。百千萬億。無数諸仏。

じん ぎょう しよーぶつ むーりょう ぞう ほう ゆう みょう しよーじん みょう しよーふーもん

尽行諸仏。無量道法。勇猛精進。名稱普聞。

じょう じゅー じん じん みー ぞう とう ほう ざい ぎー しよーせつ いーしゅーなん げー

成就甚深。未曾有法。隨宜所説。意趣難解。

しゃり ぼつ ぎー じゅう じょう ぶつ ちーらい しゅー じゅー いん ねん

舍利弗。吾從成仏 已來。種種因縁。

しゅー じゅー ひー ゆー こー えん こん きょう むー しゅー ほう べん いん ぞう しゅー じょう

種種譬諭。広演言教。無数方便。引導衆生。

りょう じりー しよー じやく しよーいーしゃーがー によーらい ほう べん

令離諸著。所以者何。如來方便。

ちーけん はらみつ かいーぐーそく しゃりほつ によーらいちーけん  
知見波羅蜜。皆已具足。舍利弗。如来知見。

こーだいじんのん むーりようむーげーりき むーしよーいー  
広大深遠。無量無礙。力。無所畏。

ぜんじょう げーだつ さんまい じんにゆうむーさい じよーじゆーいっさい  
禅定。解脱。三昧。深入無際。成就一切。

みーぞううーほう しゃりほつ によーらいのうしゆーじゆーふんべつ  
未曾有法。舍利弗。如来能種種分別。

ぎようせつしよーほう こんじーにゆうなん えっかーしゆーしん しゃりほつ  
巧説諸法。言辞柔軟。悦可衆心。舍利弗。

しゆーようこんしー むーりようむーへん みーぞううーほう ぶつしつじようじゆー  
取要言之。無量無辺。未曾有法。仏悉成就。

しー しゃりほつ ふーしゆーぶーせつ しょーいーしゃーがー  
止。舍利弗。不須復説。所以者何。

ぶつしよーじようじゆー だいいちけーうー なんげーしーほう ゆいぶつよーぶつ  
仏所成就。第一希有。難解之法。唯仏与仏。

ないのうくーじん しょーほうじつそう しょーいーしよーほう  
乃能究尽。諸法実相。所謂諸法。

によーぜーそう　　によーぜーしょう　　によーぜーたい　　によーぜーりき　　によーぜーさー

※ 如是相。如是性。如是体。如是力。如是作。

によーぜーいん　　によーぜーえん　　によーぜーかー　　によーぜーほう　　によーぜーほん　　まつ　　くーき　　よう　　とう

如是因。如是縁。如是果。如是報。如是本末究竟等。

(※から三回繰り返し)

南無妙法蓮華經　　(十唱)





妙みよう法ほう蓮れん華げ經きよう觀かん世ぜ音おん菩ぼ薩さつ普ふ門もん品ほん第だい廿にじゅうご五ご偈げ

世せ尊そん妙みよう相そう具ぐ

我が今こん重じゅう問もん彼び

佛ぶつ子し何が因いん緣ねん

名みよう為い觀かん世ぜ音おん

具ぐ足そく妙みよう相そう尊そん

偈げ答とう無む尽じん意に

汝によちよう聽かん觀のん音ぎよう行

善ぜん應のう諸しよ方ほう所しよ

弘ぐ誓ぜ深じん如によ海かい

歷りや劫こう不ふ思し議ぎ

侍じ多た千せん億のく佛ぶつ

發ほつ大だい清しよ淨じよ願がん

我が為い汝により略やく說せつ

聞もん名みよう及ぎ見ゆう身けん身しん

心しん念ねん不ふ空くう過か

能のう滅めつ諸しよ有う苦く

假け使し興こう害がい意い

推すい落らく大だい火か坑きよう

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

火坑變成池 かきようへんじようち

或漂流巨海 わくひようる こかい

龍魚諸鬼難 りゆうごしよきなん

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

波浪不能没 はろうふのうもつ

或在須彌峯 わくざいしゅみぶ

為人所推墮 いにんしよすいだ

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

如日虚空住 によにちこくうじゆう

或被惡人逐 わくひあくにんちく

墮落金剛山 だらくこんごうせん

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

不能損一毛 ふのうそんいちもう

或值怨賊繞 わくちおんぞくによう

各執刀加害 かくしゆうとうかがい

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

咸即起慈心 げんそくきじしん

或遭王難苦 わくそうおうなんく

臨刑欲壽終 りんぎようよくじゆう

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

刀尋段段壞 とうじんだんだんね

或囚禁枷鎖 わくしゆうきんかさ

手足被杻械 しゅそくひちゆうかい

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

釋然得解脫 しゃくねん とうく げだつ

呪詛諸毒藥 しゅそ しょ とうく やく

所欲害身者 しょよく がいしん じゃ

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

還著於本人 げん じゃく おほん にん

或遇惡羅刹 わくぐう あく ら せつ

毒龍諸鬼等 どくりゆう しょ き とう

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

時悉不敢害 じ じつ ぶ かん がい

若惡獸困繞 にやく あく じゅう い によう

利牙爪可怖 り げ そう か ぶ

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

疾走無邊方 じつ そう む へん ぼう

蚺蛇及蝮蠍 がん じゃぎゅう ぶつ かつ

氣毒煙火然 け とう えん か ねん

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

尋聲自回去 じん じよう じ え こ

雲雷鼓掣電 うん らい く せい でん

降雹澍大雨 ごう ぱく じゅ だいう

念彼觀音力 ねん び かん のん りき

應時得消散 おう じ とうく しょうさん

衆生被困厄 しゅじよう ひ こん にやく

無量苦逼身 むりよう く ひつ しん

観音妙智力かんのんみょうちりき

能救世間苦のうくせけんぐ

具足神通力ぐそくじんずうりき

廣修智方便こうしゅちほうべん

十方諸國土じつぽうしよこくど

無刹不現身むせつふげんしん

種種諸惡趣しゅじゅしよあくしゅ

地獄鬼畜生じごくきちくしやう

生老病死苦しやうろうびやうしく

以漸悉令滅いぜんしつりやうめつ

真觀清淨觀しんかんしやうじやうかん

廣大智慧觀こうだいちえかん

悲觀及慈觀ひかんぎやうじかん

常願常瞻仰じやうがんじやうせんごう

無垢清淨光むくしやうじやうこう

慧日破諸闇えにちはしよあん

能伏災風火のうぶくさいふうか

普明照世間ふみやうしやうせけん

悲體戒雷震ひたいかいらいしん

慈意妙大雲じいみやうだいうん

澍甘露法雨じゅかんろほうう

滅除煩惱燄めつじよぼんのうえん

諍訟經官処じやうしやうきやうかんじよ

怖畏軍陣中ふいぐんじんちゆう

念彼觀音力

衆怨悉退散

妙音觀世音

梵音海潮音

勝彼世間音

是故須常念

念念勿生疑

觀世音淨聖

於苦惱死厄

能為作依怙

具一切功德

慈眼視衆生

福聚海無量

是故忝頂禮

爾時持地菩薩、

即從座起、

前白佛言世

尊、若有衆生、

聞是觀世音菩薩品、

自在

之業、

普門示現、

神通力者、

當知是人

功徳不少、  
くどくふしょう

佛說是普門品時、  
ぶつせつぜふもんほんじ

衆中八萬  
しゅぢゅうはちまん

四千衆生、  
しせんしゅじょう

皆發無等等、  
かいほつむとうどう

阿耨多羅三藐  
あのくたらさんみやく

三菩提心  
さんぼだいしん

巡禮記 勤行次第 祝詞集

V3.0 2023年 7月24日

<https://jyunreiki.com/>